



# Message

第 34 号

2021.7.21

=メッセージ=

島根県立島根中央高等学校  
島根中央高等学校PTA広報委員会

## 魅力ある島根中央 高校のスタート

PTA会長

増谷 秀之



昨年からの新型コロナウイルス感染症拡大により、非常事態宣言やまん延防止措置などの報道をされて県内・県外の保護者の皆様も不安な日々を過ごされておられるのではないのでしょうか。3月には、コロナ禍で12期生76名の生徒が島根中央高校を卒業し、そして4月には、60名の1年生が夢と希望を持って、入学をされたことでしょう。3年間の学校生活で、将来の目標が叶えられるように頑張ってください。

さて、6月17日に令和4年度スタートの「教育創生コンソーシアム島根中央」が設立されましたが、島根中央高校に進学して良かった、進学したいと思っていただけるよ

うに、先生方をはじめ、保護者の皆様や自治体、地元企業様と『地域とともにある学校』の実現を目指し、今まで以上に魅力ある高校になれるように、微力ではございますが頑張っていきたいと思っています。



## 最良の

## 未来に向けて

校長

立石 祥美



PTA会員の皆様、こんにちは。

4月から赴任しました「たていしひろみ」と申します。どうぞよろしくお願い致します。

私は、本校での勤務は初めてではありません。本校第2期生の担任として、また第3・5・7期生の保護者として、PTA活動に深く関わって参りました。

今年の入学生は第15期生、結婚生活で言うところ「水晶婚」となります。開校15年を経て、学校のスタイルやミッシェンもある程度定まってきたように思います。

しかし、世界情勢も教育界も、「先が見えない」が枕詞として使われる時代にあって、本校のあり方も、水晶のように透明で先が見通せていることばかりではありません。

この何年か感じているのが、私たち親世代がこれまでに得てきた成功体験や人生の方程式が、「本当にそうか？」と問い直されているということです。

私たち自身は旧来の価値観を持ったままで生涯を逃げ切れるかもしれません。しかし、未知の職業や価値が世界を席巻する中、百年以上と想定される人生を生きていく子どもたちに、何を教え、何を身につけさせていかな

ければならないのか、教員はもちろん、保護者にも問われている今であることを強く感じています。

このたび、島根中央高校では、学校の教育活動のすべてをかけて育てる生徒の姿を、「自立・共生・挑戦する人」としました。

自分で考え、行動できること、人々と互いの思いや知恵を共有して協働できること、考え得る最良の未来に向けて立ち向かっていけること、そういう力をつける学校でありたいと思っています。

水晶は未来を見る力があるとされています。水晶の先に、より良い未来が映し出されるよう、すべての皆様のご協力・ご支援をよろしくお願い致します。



令和三年度

## PTA総会開催

5月8日(土)

5月8日(土) 令和3年度PTA総会を開催しました。学校状況説明、令和2年度事業報告、決算報告、監査報告、令和3年度事業計画、予算が審議され、原案どおり承認されました。

## 令和三年度PTA新役員

会長 増谷 秀之

副会長 竹下 征二

坂根 尚美

竹下 寛敏

立石 祥美(校長)

監事

遠藤 豊和

森原 明世

三浦 和幸

## 委員会構成メンバー

## ●広報委員会

委員長 松岡 知華

副委員長 伊藤 武史

担当副会長 竹下 征二

担当監事 遠藤 豊和

評議員 松岡 知華

伊藤 武史

学校担当者 藤原 愛

## ●生活指導委員会

委員長 河田 茂樹

副委員長 奥羽 尚美

担当副会長 山根 尚美

担当監事 三浦 和幸

評議員 山根 尚美

学校担当者 岩成 俊策

## ●研修委員会

委員長 安田 和史

副委員長 反田 英之

担当副会長 竹下 寛敏

担当監事 森原 明世

評議員 井上 理恵

伊藤 武史

安田 和史

佐々木 千恵

的場 寿友

安田 和史

高橋 和史

三品 さゆり

橋本 真徳

学校担当者 黒上 子

## 1学期の出来事

## 遠足

4月14日(水)、遠足に出かけました。行き先は、1年生アクラス、2年生古代出雲歴史博物館・出雲大社、3年生堀川遊覧船体験・松江城でした。手指消毒、マスク着用の徹底、食事中の会話を避けるなど、感染予防対策を丁寧に行いました。あいにく、パラパラと雨が降るなど、快晴には恵まれませんでしたが、新しいクラスの友達と親睦を深めたり、動物や自然に親しんだりしつつ、笑顔で楽しく1日を過ごすことができました。

## 球技大会

6月14日(木)、校内球技大会を行いました。日差しが強く暑い一日でしたが、生き生きとプレーしたり、友達への応援をしたりしていました。複数競技に出場する生徒もあり、存分に活躍しました。生徒会、体育委員、バレー部、ソフトテニス部が中心になって大会の運営を行いました。全校でスポーツを楽しむことができました。上位大会への出場は、今年は残念ながらありませんが、クラスの団結力を一段と高めることができた球技大会でした。



## まちごとキャンパス学習が始まりました

まちごとキャンパス学習とは、地域デザインコースの2年生が、地域の事業所で実習を行い、将来の地域リーダーとしての資質と能力を養うことを目指した授業です。学校、ホテル、商店など、町内の13の事業所に赴き、毎週2時間の体験学習を行っています。初めて会う大人とのふれあいを通して、学校では感じたことのなかったコミュニケーションの難しさや、作業を通じたやりがいを感じています。地域のみなさんの協力で成り立っている学習です。町でみかけたらぜひ応援してください。



## 島根中央高校への思い

今年度も県内外から入学された生徒・保護者の方に寄稿いただきました。

### 「ホップ・ステップ・ジャンプ」

1年1組 古家後 敦士さん 母

中学一年生の2学期が始まっ  
てすぐ、頭痛がする、朝起きられ  
ないと起立性調節障害の症状が  
見られ、親子で相談した結果、環  
境を変えてみようとして中学二年生  
の4月から北海道への山村留学  
を決めました。

全校生徒23名ほどの小中学校  
での山村留学は本当に小さなコ  
ミュニティだったこともあり大  
変な面もありましたが、少人数  
の中で温かく、しっかりと勉強も  
見ていただきました。その北海  
道への山村留学を決めた時点で、  
高校も同じような環境があつて  
いるのではないかと思います、中2  
の6月に地域みらい留学合同学  
校説明会に参加し島根中央高校  
を知りました。

多くの県外生を受け入れた実  
績があること、3食食事を提供  
していただけること、半個室の

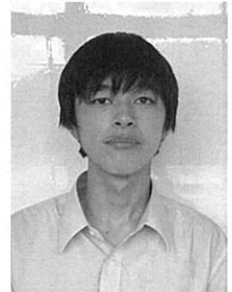
プライベートスペースがあるこ  
と、規則正しい生活ができるこ  
と等、一つ一つ本人と相談・確  
認し受験を決めました。卒業生・  
在校生の保護者のみなさまと直  
接お話ができたことも参考にな  
り良かったです。また全く見知  
らぬ場所ではなく、祖母の出身  
校であることも安心材料でした。  
島根中央高校に入学させて良  
かったことは、生徒数も多すぎ  
ず、行動範囲に生活に必要な施  
設が揃い、のびのび過ごしてい  
ることだと思います。

地域ボランティア活動にも積  
極的に取り組み、これから自分  
で企画運営ができるように、  
様々な経験を積み重ねて欲しい  
と思っています。

また、体調のこともあり、入部  
するか気になっていた部活もバ  
スケットボール部に入部し、地  
元の卒業生・在校生の保護者の  
みなさまに沢山助けていただき  
また先輩・同級生と楽しく過ご  
している様子でとても感謝して  
います。

先生方、地域のみなさまが暖  
かく見守ってくださる中で、自  
主的に勉強に取り組み、判断力  
をつけ、次のステップへ自分を  
磨いて欲しいと思います。

### 「古家後敦士さんに聞きました」



Q 島根中央高校を選んだ理由  
はなんですか？

最初は母の勧めで島根中央  
高校を知りました。その後地域  
みらい留学のオンライン説明  
会を聞いたり、体験入学に行っ  
たりし、自然が多く勉強ができ  
る環境が整っていたことと、地  
域活動やボランティアに参加  
できると知り、この学校を選び  
ました。

Q 入学してからこれまでを振  
り返ってみてどうでしたか？  
寮生活の雰囲気も中学生の時  
の経験からなんとなくは分か  
っていましたが、慣れないこ  
とも多く、最初は大変でした。  
今は生活リズムにも慣れ、学校  
や寮の人たちと仲良く過ごし  
ています。

Q 入学して自分が変わったと  
思うことは何ですか？  
中学生のころに比べ、全体的

に忙しい毎日を送っているな  
かで、健康面や学習面で自分の  
ことを少しは大切にできるよ  
うになりました。

Q 家族に向けて一言！

高校を探している時に「こん  
な学校があるよ」などと教えて  
くれてありがとう。これからも  
迷惑をかけるかもしれないけ  
れど、よろしく願います。

### 「不安と希望」

1年2組 柴田 桃楓さん 母

私たち家族は、子供が小さい  
うちから転勤による引っ越し  
を十数回してきました。

子供たちは、その土地に慣れ、  
友達を作る事もだんだん上手  
になり順応する早さを近くで  
見ていて感心しました。それに  
対し、私は土地勘のない場所  
で知り合いを作るのは難しく、  
ずっと慣れた頃には、次の転勤で  
苦労しました。

幼稚園、小学校、中学校と学  
年が進むにつれて、高校進学へ  
の不安が大きくなりました。さ  
すが、高校は転校できないと  
思い、子供が中学生になったタ

イミングから、インターネット  
で寮のある高校を、全国片っ端  
から調べました。

子供たちの祖父母は北海道  
に住んでいるので、最初は北海  
道内の高校を調べました。寮費  
や、立地、学校の特色などを見  
比べて、オープンスクールに行  
ったり、直接校長先生とお話さ  
せていただいたりして、情報収  
集しました。

そんな中、インターネットで  
見ているうちに、「しまね留学」  
というワードが気になり始め  
ました。県内の寮完備の学校の  
多さや、自然の豊かさ、学校側  
だけでなく生徒の言葉や地域  
との関係など、他の都道府県と  
の力の入れ方の差を感じまし  
た。

島根県内のいくつかの学校  
を見学させていただき、どこも  
対応がよく魅力的でした。中  
でも島根中央高校は、山間部にも  
かわらず寮生の数が多く、全  
国各地から集まっているとい  
う所に、安心感を持ちました。  
もちろん、寮費も良心的で、女  
子寮が新しくできる事も魅力  
的で、普通科に進学したかった  
娘も、自らこの学校がいいと選  
んでくれました。



入学してからは、本人のとて  
もやる気に満ちている様子が、  
日々のラインで伝わって来ま  
した。部活動も、色々興味が湧  
くようで決めるのに時間がか  
かったみたいです。迷うという  
ことは、おもしろそうだと思う  
部活動が沢山あったのでしょ  
う。

寮生活では、洗濯、早寝早起  
きなど、家にいた時の様に甘え  
られない分、自分で考えて行動  
できているように思います。入  
学式の日に、バイバイして泣い  
てしまった末っ子も、今の成長  
したお姉ちゃんに早く会いた  
いと楽しみに待っています。

### 〈柴田桃楓さんに聞きました〉



Q 島根中央高校を選んだ理由  
はなんですか？

親の転勤がとて多く、寮が  
あるところでないとは勉強に支  
障が出るからというのもあり  
ましたが、島根中央高校は特に  
ボランティアなど地域活動に

力を入れていて、色々な挑戦を  
することで新しい発見を得る  
ことができると思いました。兄  
も通っているので安心して過  
ごせています。

Q 入学してからこれまでを振  
り返ってみてどうでしたか？

最初は慣れることができな  
くて、家族とも離れていて会  
うことができないのでとても不  
安で寂しかったのですが、今は  
たくさん友達ができ、勉強や部  
活ボランティアで忙しくなり、  
とても充実した日々を過ごせ  
ています。

Q 入学して変わったと思うこ  
とは何ですか？

寮に入ることでも母など周り  
の人から注意してもらうこと  
ができなくなるので、規則正し  
い生活を送ることや、自主的に  
勉強することが前よりできる  
ようになりました。また、洗濯  
や掃除など身の回りのことも  
自分でやらなければならな  
いので改めて親のありがたみを  
感じました。

Q 家族に向けて一言！

毎日しっかりと勉強して良い

大学に入れるように頑張りま  
す。期待しててください。

### 「今思うこと」

1年3組 河田 依南さん 母

家から近くて、父親の母校  
で、従兄弟たちも通っていて、  
仲の良い先輩もいて、バレーが  
できる環境。進路は島根中央高  
校一択でした。

保育園から中学校を卒業す  
るまで、ほぼメンバーの変わら  
ない同級生17名。島根中央高校  
に進学したのはそのうち5名  
でした。男女ともに仲の良いク  
ラスだったので、みんなバラバ  
ラになってしまふことに、親な  
がら寂しさと不安を覚えたこ  
とを思い出します。

緊張で「吐きそう!!!」と騒ぎ  
ながら迎えた、入試当日。東京  
から来ていた隣の席の男の子  
と友達になったよ！と嬉しそ  
うに帰ってきました。

無事に合格し、入学式の日。  
「クラス全員に話しかける！」  
と張り切って家を出ました。

そして今。同じクラス、同じ  
部活動ではない子まで、家に遊  
びに来てくれるようになりま

した。できた友達のほとんどが  
県外から川本に来てくれた寮  
生です。その寮がわずか3分の  
場所にある我が家。親元を離  
れ、遠くから来てくれた子たち  
が、気軽に立ち寄ってくれる場  
所になれたら嬉しいです。

あつという間に過ぎていく  
高校生活。私たち家族も、娘と  
一緒に過ごせるのは、あと2年  
半。娘と娘の友達が島根中央高  
校を選んで良かった！川本に  
来て良かった！と思えるよう、  
大人になっても心に残る思い  
出作りの手助けができればら  
いなと思っています。

### 〈河田依南さんに聞きました〉



Q 島根中央高校を選んだ理由  
はなんですか？

一番身近にあった学校なの  
で中学校のときから関わるこ  
ともあり、すごく楽しそうだと  
思い決めました。

Q 入学してからこれまでを振  
り返ってみてどうでしたか？  
中学校とは違った生活に不  
安がありました。先輩や友達  
と毎日楽しい生活を過ごして  
います。

Q 入学して変わったと思うこ  
とは何ですか？

多くの人と関わっていく中  
で、出会ったことのないよう  
な人と出会い、今まで以上にた  
くさんのことを知ることがで  
きました。

Q 家族に向けて一言！

毎日朝早くからお弁当作っ  
てくれてありがとうございま  
す。3年間しっかりとがんばりま  
す。

### 「貴重な体験」

2年1組 岸田 秀斗さん 母

「しまね留学って知ってる？」  
という息子の言葉ではじめて  
地域みらい留学の制度を知り  
ました。学校のパンフレットを  
拝見し、調べてはいたのですが、  
頭の片隅にあるくらいでした。  
中3の1月、息子がまさかの

進路選択。ギリギリの選択でした。期待や不安、様々な思いだったでしょう。親としてこのまま遠い島根県に行かせて大丈夫かという葛藤がありました。最終的には息子を信じ、応援するしかないと決心しました。その後、はじめて川本町を訪れたとき、私自身、何だかほっとしたのを覚えています。

無事に入学できたと同時にコロナ禍。体験したことのない世の中になってしまい、大人も子供たちも不安でいっぱいだったと思います。少しずつ高校生活にも慣れていき、息子や保護者の方から送られてくる写真が、どれも素敵なものばかりで、とても元気をもらっています。川本町での暮らしは、たくさんの人たちに支えられ、温かく見守っていただき、ありがたいです。帰省するたびに、息子の成長には驚かされます。今、意欲的にいろいろと学べている事は、本人の力と環境を与えてくださる周りの方々のおかげだと思っています。この貴重な高校生活が、かけがえのない一生の財産となるよう、出会いを大切にしてほしいと願っています。

先生方、地域の皆様、心から感謝しております。

岸田秀斗さんに聞きました



Q 島根中央高校を選んだ理由はなんですか？

県外生の多いこの高校では、さまざまな人と関わることができ、価値のある3年間を過ごすことができると思ったからです。

Q 入学してからこれまでを振り返ってみてどうでしたか？

県外生も地元生も分け隔て無く楽しく生活しています。全国各地の方言や文化の差に直接触れることができ、地元では味わうことのできない貴重な経験をしているなど実感しています。

Q 入学して変わったと思うことは何ですか？

勉強への意欲が高まったことです。この高校に入学してから、勉強を通して自分の知識を

深めることの楽しさに気づき、自分から進んで学習に取り組むことができるようになりました。

Q 家族に向けて一言！

離れて生活していてもいつも応援してくれていることを感じています。3年間で成長した姿を楽しみにしててください！

## 令和3年度

### 島根県高等学校 総合体育大会

#### ■陸上競技部



場所・松江市宮陸上競技場

男子5000m競歩  
1位 吉迫 大成  
2位 塚田 楓也

男子砲丸投

5位 三上 純真

男子800m

3位 安部 暁生

女子走幅跳

1位 野口 月華

女子三段跳

1位 野口 月華

#### ■カヌー部

場所・江の川くにびき国体記念コース(美郷町)

男子カヤックシングル500m

第1位 行田 朋晃

第2位 小鍵 亮太

第3位 齋藤 哲一

男子カヤックシングル200m

第1位 小鍵 亮太

第2位 行田 朋晃

第3位 齋藤 哲一

男子カヤックペア500m

第1位

齋藤 哲一・小鍵 亮太

第2位

清水 慧・大見 省吾

男子カヤックフォア500m

第1位

行田 朋晃・齋藤 哲一

小鍵 亮太・大見 省吾

男子カナディアンペア500m

第2位

市川 蒼空・中島 聡太

女子カヤックシングル500m

第2位 松岡 華加

女子カヤックシングル200m

第2位 橋本 茉音

女子カヤックペア500m

第2位

松岡 華加・橋本 茉音

女子カヤックフォア500m

第1位

松岡 華加・橋本 茉音

山根 陽菜子・和泉 凜音

★行田朋晃、齋藤哲一、小鍵亮太、大見省吾、松岡華加、橋本茉音、山根陽菜子、和泉凜音の8名は8月に福井県で行われるインターハイに出場決定



## ■男子バスケットボール部

場所…カミアリーナ（出雲市）

1回戦

島根中央42—88松江工業



## ■女子バスケットボール部

場所…カミアリーナ（出雲市）

1回戦

島根中央27—89松江北



## ■女子バレー部

場所…カミアリーナ（出雲市）

1回戦

第1セット20—25出雲西

第2セット24—26出雲西

## ■ソフトテニス部

場所…松江市総合運動公園

男子個人戦

1回戦

川角・坂根4—2出雲農林

2回戦

川角・坂根4—3大田

3回戦

川角・坂根3—4江津

女子個人戦

2回戦

佐々木・谷口3—4安来

2回戦

本山・増田0—4大社

2回戦

星野・後根4—2平田

3回戦

星野・後根1—4松江北

女子団体戦

1回戦

島根中央2—1情報科学

2回戦

島根中央0—2安来



## ■剣道部

場所…大田市総合体育館

男子個人戦

1回戦

坂根慎之介×—○出雲西

女子個人戦

1回戦

酒井星来○—×松江農林

2回戦

酒井星来×—○大社

1回戦

松本愛子×—○益田

1回戦

浜田愛美×—○平田

女子団体戦

1回戦

島根中央0—1情報科学

## その他の大会・活動

【第67回中国高等学校剣道選手権大会】

1回戦

酒井星来●—○倉敷商業

1回戦

松本愛子●—○西大寺

【第74回中国高等学校陸上競技選手権大会】

男子5000m競歩

吉迫 大成 3位入賞

インターハイ出場決定

## 女子三段跳

野口 月華 7位入賞

【令和3年度高文連春期写真コンクール講評会】

特選 渡邊 菜々美

和泉 哲

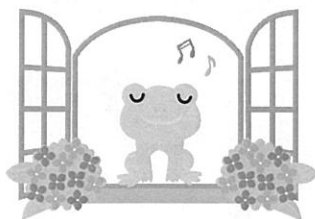
中原 浩輔

以上3名は高校写真展への出品権獲得

## お知らせ

## PTA奉仕活動

8月21日（土）7時30分から校舎周辺やグラウンドの除草作業を行います。PTAの皆様のご参加をよろしくお願いいたします。



## 編集後記

新型コロナウイルスの感染拡大が収まらない中、また夏がやってきました。マスク着用が日常になったとはいえ、マスクの中は蒸れるし、やはり暑い！日焼けにも気をつけないといけないし…早くマスクなしの生活が戻ってきてほしいです。

さて、今年度最初の「Message」いかがだったでしょうか？今年は遠足や球技大会などの学校行事や部活動の県総体も開催され、盛り沢山の内容でお届けすることができました。生徒たちの学校での様子などを身近に感じて頂ければ嬉しく思います。

今回も忙しい中寄稿して頂きました皆様、本当にありがとうございました。

いよいよ夏本番です。体調に気を付けて、元気に夏を乗り切りましょう。

